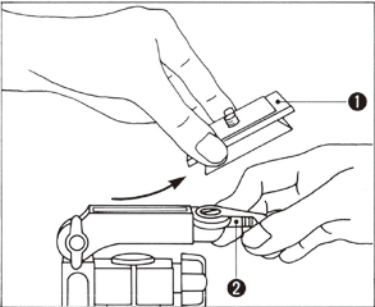
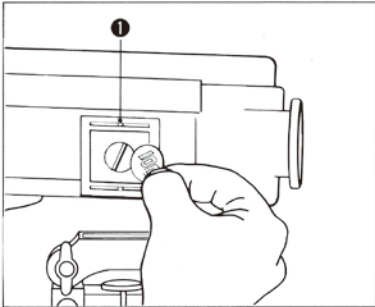


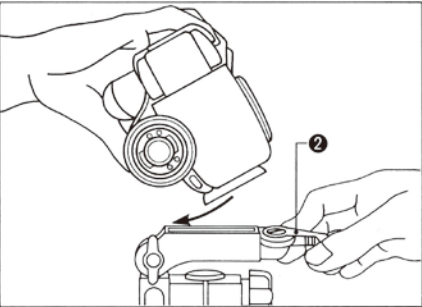
カメラの取り付け方



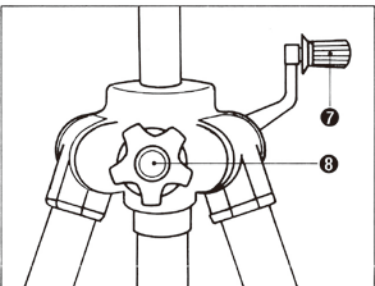
シュー固定レバー②を矢印のFREEの方向にまわしてゆるめ、スライドさせながらクイックシュー①をはずします。



クイックシュー①のカメラネジをカメラの底部のネジ穴に合わせ、コインなどでしっかり固定させます。クイックシュー①を雲台のプレートに横からすべり込ませるようにしながらさし込み、シュー固定レバー②を矢印のLOCKの方向に回してしっかり固定させます。はずす時はカメラを片手でしっかりつかみ、シュー固定レバー②をゆるめ、クイックシュー①をつけたまま横へすべらせながらはずします。カメラを落とさないように注意してください。

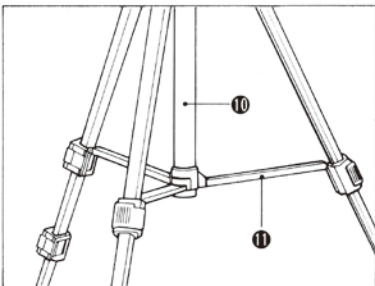


エレベーターの使い方



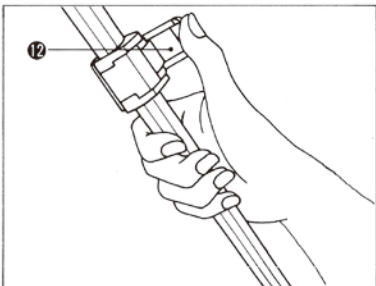
エレベーターストップバー⑧をゆるめてクランクハンドル⑦を回して高さを調節します。高さが決まったら確実にエレベーターストップバー⑧を固定させてください。

開脚するときの注意



ブレイス⑪がガイドパイプ⑩の一番下で止まるまで脚を広げてください。中途半端な開脚状態ですと、やや安定性を欠きます。角度はできるだけ広くした方が三脚の安定が良くなります。

脚の伸縮



脚の長さを調節する時は右手の親指で脚ロックレバー⑫をおこすようにしてロックをはずし、上の段の脚から順に伸ばしてください。縮めるときは逆に下の段の脚からしまってください。脚の長さが決まったら、レバーを確実におさえてロックしてください。

警告

カメラを載せたまま脚の伸縮調節や雲台の操作をする時はカメラ本体を必ず手で支えながら行ってください。三脚やカメラが不意に動きカメラを破損したり手を三脚にはさむ恐れがあります。

脚を開閉するときは十分注意してください。誤って指をはさんだりすると怪我につながります。あわてずによく確かめて操作してください。

傾斜面など不安定な場所で使用する場合は設置場所の安全と十分な体勢を確保した上でご使用ください。特に高所の場合、転落や転倒すると死亡や大けがにつながります。

●くづついた台の上や傾いた所など、不安定な所に置かないでください。特に高い棚の上などの場合頭や足の上などに落下すると、死亡や大けがにつながります。

●三脚はアルミ合金部品で構成されておりますので通電します。電気の側や高圧線の近くでの使用は避けてください。又、落雷の恐れがある場合は使用しないでください。

●三脚の上には絶対に懸掛けたり置いたりしないでください。転倒し死亡や大けがにつながります。

●寒冷地でご使用される場合は金属部が凍結する恐れがありますので素手で操作しないでください。

注意

撮影場所など移動の場合は必ず三脚からカメラを外して携帯してください。カメラを装着して携帯すると予想以上の力が加わりカメラが落下する恐れがあります。

三脚の自重の2倍を超えるカメラのご使用は安定性を損ないますのでお避けください。カメララフレの原因となり三脚が転倒する恐れがあります。

三脚各部へのオイル、グリースの補給はしないでください。十分な性能が発揮されない場合があります。

●転倒破損防止のため脚は十分開いてご使用ください。

●夏季など高温になる自動車内等には放置しないでください。オイル漏れや故障の原因となります。

●寒冷地でご使用される場合は十分な性能が発揮されない場合があります。特にビデオ用オイルフリード雲台付三脚はパン・ティルトの作動が重くなった動きがなくなる事があります。

●ご使用後は必ず清掃等のお手入れをしてください。特に海岸及び温泉地での使用後は湿った布で拭いた後乾いた布で拭く拭き取って保管してください。そのままの状態でご使用すると錆びることがあります。

●部品の脱落防止のため、三脚を携帯するときは各々のネジや固定レバーはしっかり締めつけて持ち運びしてください。

●カメラを取り付けた状態で不安定な場所に放置したり立てかけたりしないでください。転倒の恐れがあります。

●写真機、ビデオ、望遠鏡等の撮影、観望以外の目的で 사용하지 しないでください。

Vixen®

PS-144T 取扱説明書

このたびは、ビクセン製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

各部の名称

① クイックシュー
② シュー固定レバー
③ カメラ台
④ カメラ台ストップバー
⑤ パンストップバー
⑥ パンハンドル
⑦ クランクハンドル
⑧ エレベーターストップバー
⑨ エレベーター
⑩ ガイドパイプ
⑪ ブレイス
⑫ 脚ロックレバー
⑬ 石突ゴム

雲台の使い方

パンストップバー⑤をゆるめ、パンハンドル⑥をヨコ方向にまわし、必要な位置で固定します。

パンハンドル⑥をゆるめ、タテ方向にまわし、必要な位置で固定します。

カメラ台ストップバー④をゆるめ、カメラ台をいっばいまで上げ固定します。カメラのたて位置撮影が行えます。